

Procrea Digest

2024年3月期ミニディスクロージャー誌
(2023年4月1日～2024年3月31日)





挑む。超える。ともに創る。

プロクレアホールディングス

プロフィール (2024年3月31日現在)

商 号	株式会社プロクレアホールディングス (英文名称: Procra Holdings, Inc.)
設 立 日	2022年4月1日
本 店 所 在 地	青森県青森市勝田一丁目3番1号
主 本 社 機 能	青森県青森市橋本一丁目9番30号
事 業 内 容	・銀行および銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務 ・その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
資 本 金	200億円
営 業 店 舗 数	193 ※支店内支店(1つの店舗内で複数の支店が営業する拠点)、ローン専門拠点、その他事務所を含む。
決 算 期	3月31日
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:7384)

Contents

ごあいさつ	1
プロクレアホールディングスの概要	2
第1次中期経営計画基本戦略	3
サステナビリティ方針とマテリアリティ	4
サステナビリティに関する取り組み	5~6
業績ハイライト(2行合算)	7~8
連結財務諸表	9
株式情報	10

ごあいさつ

取締役社長

成田 晋



皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。

「2024年3月期ミニディスクロージャー誌 プロクレアダイジェスト」をお届けいたします。どうかご一読いただき、私どもプロクレアグループへのご理解を一層深めていただければ幸いです。

昨年5月、新型コロナ5類移行により経済活動の制約が解消され、国内経済は緩やかな回復基調を取り戻しました。青森県でも青森ねぶた祭をはじめとした各地のイベントが4年ぶりに通常開催されるなど、広い範囲でコロナ禍からの脱却が進みました。

また、日経平均株価の最高値更新、そして日本銀行による金融政策の枠組みの見直しという、日本経済にとって大きな節目を迎えました。

2025年1月にはいよいよ「青森みちのく銀行」が誕生いたします。

両行合併の完遂に向け、県内三市や北海道地区でのローン専門拠点の共同店舗化、両行本部セクションの執務スペース共有等、グループとしての全体最適化を着実に進めております。

また、HD子会社「あおり創生パートナーズ」への事業創造機能の付与とコンサルティング機能の強化を実施する等、統合シナジー効果の早期創出に取り組んでおります。

プロクレアグループでは「地域の未来を創る」「お客さまと歩み続ける」「一人ひとりの想いを実現する」という経営理念を掲げております。青森銀行は創業以来145年、みちのく銀行も創業以来102年という長い間、地域の皆さまとともに歩み、成長してまいりました。それは、「青森みちのく銀行」となっても決して変わる事はありません。

私たちは、ふるさとの「彩り豊かな未来」を創造し、次の世代に受け継いでいくべく、地域経済活性化や気候変動対応をはじめとする地域の重要課題にグループ一体となって取り組んでまいり所存でございます。

引き続き、変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

プロクレアホールディングスの概要

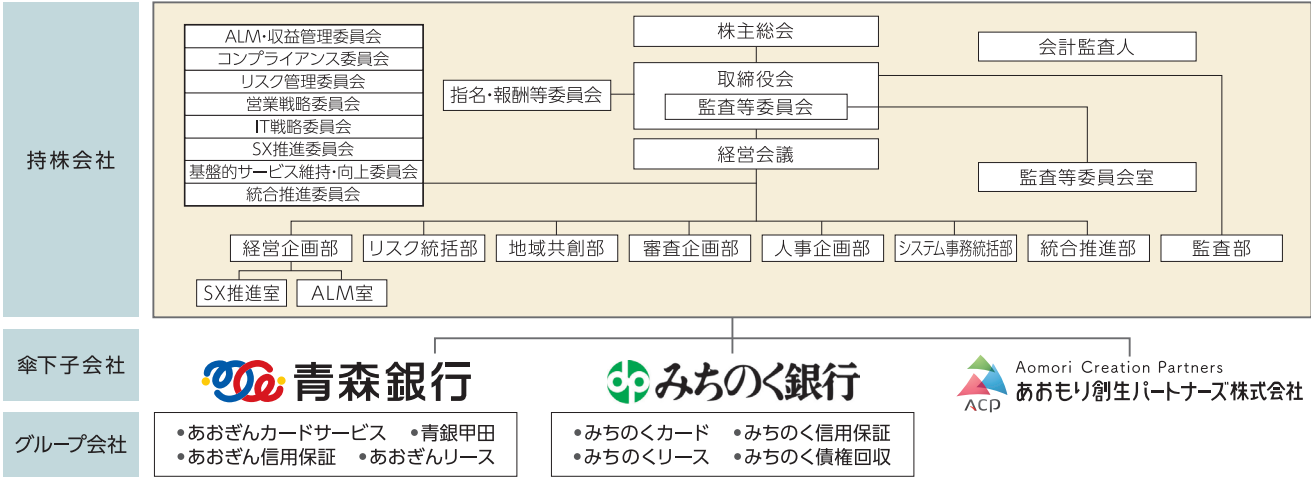
経営理念

「地域の未来を創る」
「お客さまと歩み続ける」
「一人ひとりの想いを実現する」

理念に込めた想い

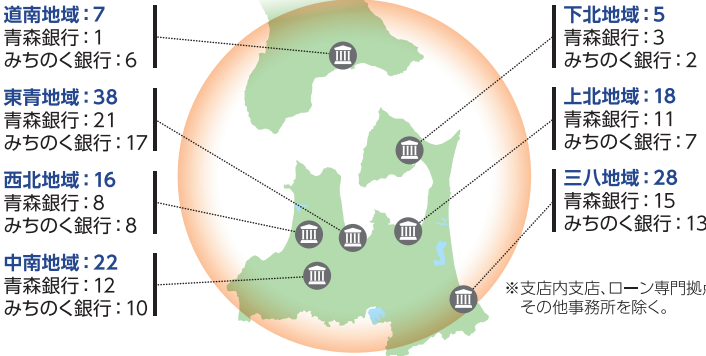
- ◆ 私たちは、健全性を堅持するとともに、地域の課題や可能性に積極的に挑戦することで、明るく豊かな未来を創ります。
- ◆ 私たちは、専門性を高めるとともに、期待を超えるサービスを追求することで、お客さまの信頼に応え、成長と発展に向けてともに歩み続けます。
- ◆ 私たちは、自主性を尊重するとともに、多様な個性を力に変えることで、自信と誇りに満ちたやりがいのある組織を築き、一人ひとりの溢れる想いを実現します。

組織図



主要拠点 (2024年3月31日現在)

青森県内から道南地域にかけて強い基盤を有しております。



拠点数 (2024年3月31日現在)

都道府県	青森銀行	みちのく銀行	両行計
青森県	70	57	127
東青地域	21	17	38
中南地域	12	10	22
三八地域	15	13	28
西北地域	8	8	16
上北地域	11	7	18
下北地域	3	2	5
北海道	2	7	9
岩手県	1	2	3
宮城県	1	1	2
秋田県	2	2	4
東京都	1	1	2
合 計	77	70	147

第1次中期経営計画基本戦略

プロクレアホールディングス第1次中期経営計画

『挑戦と創造』

スローガン シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する

経営
課題

金融サービスの
安定性と質の両立

地域産業の発展
地域住民の生活の向上

健全かつ持続的な
経営基盤の構築

基本
戦略

基本戦略Ⅰ

金融仲介機能の強化

- ① 伴走型コンサルティングの強化
- ② 金融サービス・ソリューションの強化
- ③ 専門性の多角化と深化
- ④ サービスのデジタル化

基本戦略Ⅱ

事業領域の拡大

- ⑤ 地域共創・総合商社モデルの構築

基本戦略Ⅲ

経営の合理化・効率化

- ⑥ インフラ等の効率化
- ⑦ 業務のデジタル化
- ⑧ 組織体制の効率化

基本戦略Ⅳ

グループ基盤の強化

- ⑨ 人材力の強化
- ⑩ 有価証券運用力の強化
- ⑪ リスク管理態勢の強化
- ⑫ ガバナンス体制の強化
- ⑬ その他サステナビリティ等の取り組み強化

サステナビリティ方針とマテリアリティ

■ サステナビリティ方針

気候変動・脱炭素の問題をはじめ、健康や相対的貧困、ダイバーシティ&インクルージョン等、「サステナビリティ」への関心は高まる一方です。当方針は、そのような環境下、持続可能な社会の実現に向けたプロクレアホールディングスとしての今後の取り組みの方向性を内外に示すものとして位置付けております。

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」 彩り豊かな未来を、次の世代に

私たちは、愛する“ふるさと”を美しいまま次の世代に受け継いでいくため、彩り豊かな未来の創造に向けて挑戦してまいります。地域におけるあらゆる課題や無限の可能性と向き合い、環境、社会、ガバナンスの観点から持続可能な事業活動を通して皆さまとともに歩み続けます。



ステークホルダーとの
お約束

自然・環境

環境保全と調和した地域経済の成長を目指し、気候変動や自然への影響を常に意識しながら事業活動に取り組んでまいります。

地域社会

自然資本・人的資本の価値が最大限発揮され、ますます魅力あふれる社会となるよう、皆さまとのコミュニケーションを大切に地域社会の発展に貢献いたします。

お客さま

お客さまの最良のパートナーとして、社会の変化に対応しながら、常にお客さまに安心かつ最適なソリューションを提供いたします。

従業員

役職員一人ひとりが健康で自分らしくいきいきと働き続けられ、多様な活躍ができる会社づくり・組織風土づくりを進めてまいります。

株主・投資家

地域の皆さまとともに発展し、すべてのステークホルダーより高い信頼を寄せられる、魅力ある企業であり続けます。

■ マテリアリティの特定

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」のもと、当社グループと地域の持続的な成長を支援するため重要課題（マテリアリティ）を特定いたしました。事業活動の基盤である青森県の環境・社会課題を考慮し、当社の経営戦略を通じてマテリアリティの解決に取り組んでまいります。

なお、マテリアリティは外部環境及び取り組みの進捗や事業活動の状況などを踏まえて、定期的に見直しを図ってまいります。

【特定されたマテリアリティ】

地域経済

地域経済
活性化の支援

地域資源の
付加価値向上

自然環境

気候変動・
脱炭素への対応

自然環境保全への
貢献

人的資本

自律人材の育成・
活躍促進

ダイバーシティ&
インクルージョンの推進

サステナビリティに関する取り組み

弘前市の歴史的資源を活用した 観光まちづくりに関する連携協定締結

2023年10月、プロクレアホールディングス、青森銀行、みちのく銀行、あおり創生パートナーズは、弘前市、弘前商工会議所と「歴史的資源を活用した観光まちづくりに関する連携協定」を締結しました。それぞれが保有する知的・人的資源等を活用し、観光・文化の振興で地域経済が好循環する仕組みづくりを目指してまいります。



春のグリーン大作戦への協力

2024年4月、「小さな親切」運動青森県本部の趣旨に賛同し、社会貢献活動の一環として青森県内外各地で清掃活動を行いました。青森県内では、地域の方々や職員および家族合わせて約2,700名が参加し、私たちの住む町への感謝を込めてよりよい環境づくりへのお手伝いをしました。



「エコノミクス甲子園」開催のサポート

楽しみながら金融知力を身につけることができる、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」青森大会(2023年12月)、全国大会(2024年2月)をサポートしました。次代を担う若年層への金融教育の充実に取り組んでいます。



商談会の開催 ～お客さまの販路拡大を目指して～

- 2023年12月、青森銀行とみちのく銀行は「青函水産業応援マッチング商談会」を開催しました。中国の日本水産物禁輸措置を受け、販路確保等の対策が必要となった水産関連事業者14社の販路拡大や成長支援をサポートしました。
- 2024年1月、両行は青森県産品を取扱う中小企業の販路拡大のため「ベストマッチ♥オンライン商談会～九州エリア編～」を日本政策金融公庫と共催しました。両行の取引先15社が九州地区の小売業者等5社に自社商品の魅力をPRしました。
- 2024年1月、両行は日本貿易振興機構（JETRO）青森貿易情報センター、青森県商工会連合会、青森県と共催し「国内バイヤー招請輸出商談会」を開催しました。様々な国や地域に販路を有する国内商社7社のバイヤーを招請し、海外への販路開拓を目指す県内の食品関連事業者を支援しました。



ローン専門拠点共同店舗オープン（函館・札幌）

北海道2地区における両行のローン専門拠点を共同店舗とし、運営を開始しました。なお、青森・弘前・八戸地区においても、既に共同店舗の運営を行っており、より多くのお客さまに幅広くご利用いただいております。両行では、共同店舗化を機に組織融和をさらに深めてまいります。

【函館地区】（函館市桔梗1丁目3-5）

- 青森銀行ローンデスク函館
- みちのく銀行ローンスクエア函館

【札幌地区】（札幌市白石区南郷通8丁目北2-25 5F）

- 青森銀行ローンデスク札幌
- みちのく銀行ローンスクエア南郷



【函館地区】



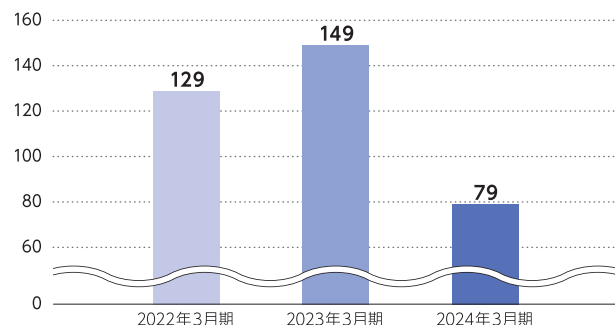
【札幌地区】

業績ハイライト(2行合算)

コア業務純益の状況

コア業務純益は、有価証券利息配当金の減少により資金利益が減少したことや役務利益の減少等により、前年同期比70億円減益の79億円となりました。

(単位:億円)

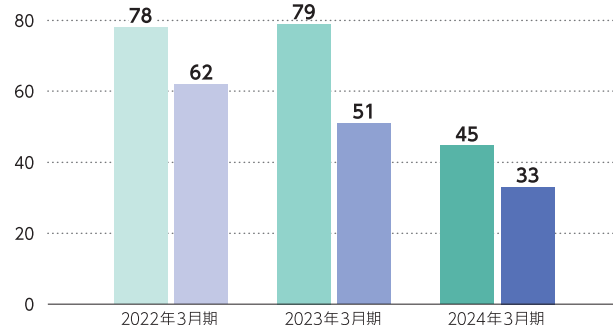


経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、与信費用が減少し有価証券関係損益が改善したものの、コア業務純益の減益が大きく、前年同期比34億円減益の45億円となりました。また、当期純利益についても、前年同期比18億円減益の33億円となりました。

経常利益 当期純利益

(単位:億円)

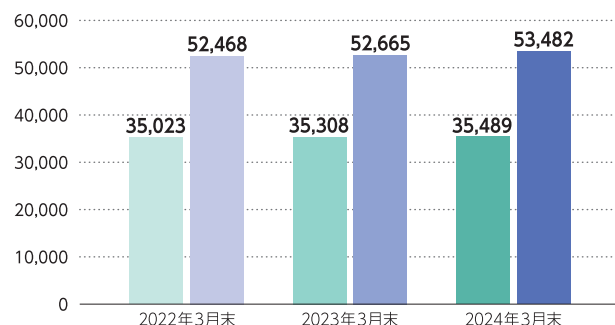


預金(譲渡性預金を含む)の状況

2024年3月末の譲渡性預金を含む総預金は、個人預金が引き続き堅調に推移していることに加え法人預金・公金預金も増加したことから、前年度末比817億円増加の5兆3,482億円となりました。

個人預金 預金合計

(単位:億円)

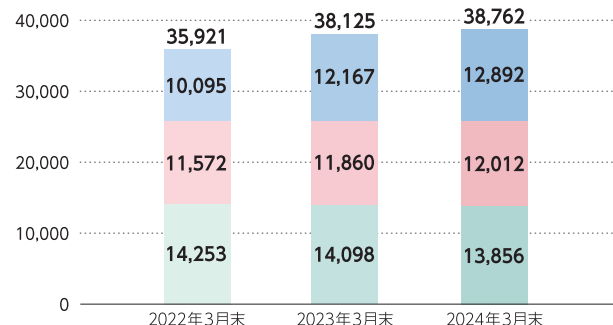


貸出金の状況

2024年3月末の貸出金は、住宅ローンを中心とした個人ローン及び公共貸出の増加により、前年度末比637億円増加の3兆8,762億円となりました。

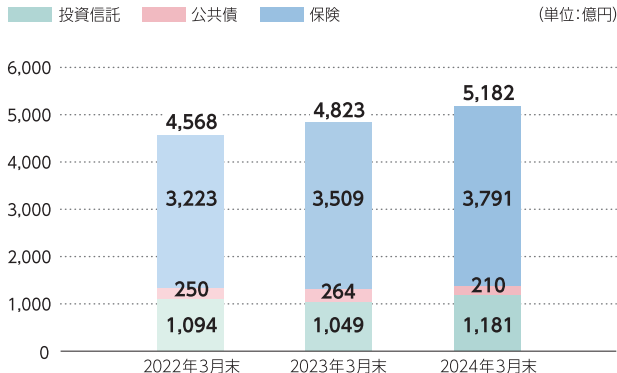
事業性貸出 個人ローン 公共貸出

(単位:億円)



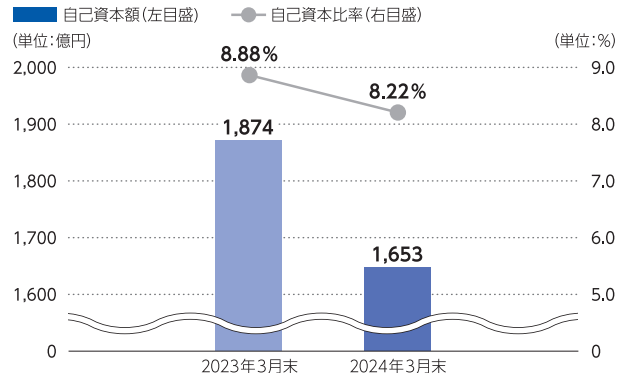
預かり資産の状況

2024年3月末の預かり資産残高は、投資信託や保険残高が増加したことから、前年度末比359億円増加の5,182億円となりました。



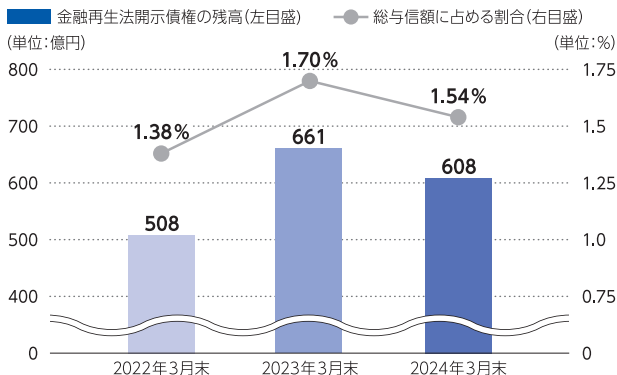
自己資本比率の状況(プロクレアHD連結)

2024年3月末の持株連結自己資本比率は、公的資金の返済による自己資本額の減少を要因として、前年度末比0.66%低下の8.22%となりました。引き続き国内基準である4%を大きく上回る水準を確保しております。



金融再生法開示債権の状況

2024年3月末の金融再生法開示債権は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が増加した一方、危険債権及び要管理債権が減少したことにより、前年度末比53億円減少の608億円となりました。また、与信総額に占める開示債権の比率は前年度末比0.16%低下し1.54%となりました。



用語解説

■コア業務純益

預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

■経常利益

コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。

■当期純利益

経常利益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

第2期 連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	1,205,214	預金	5,046,924
買入金銭債権	4,891	譲渡性預金	284,140
金銭の信託	19,765	コールマネー及び売渡手形	3,903
商品有価証券	15	借入金	421,043
有価証券	744,993	外国為替	35
貸出金	3,834,598	その他負債	22,665
外国為替	3,832	賞与引当金	1,350
リース債権及びリース投資資産	34,364	役員賞与引当金	30
その他資産	67,456	退職給付に係る負債	130
有形固定資産	29,696	役員退職慰労引当金	6
無形固定資産	7,461	株式給付引当金	382
退職給付に係る資産	8,072	睡眠預金払戻損失引当金	258
繰延税金資産	10,436	再評価に係る繰延税金負債	1,391
支払承諾見返	22,917	支払承諾	22,917
貸倒引当金	△ 20,984	負債の部 合計	5,805,180
投資損失引当金	△ 203	(純資産の部)	
		資本金	20,000
		資本剰余金	28,151
		利益剰余金	124,218
		自己株式	△ 608
		株主資本合計	171,761
		その他有価証券評価差額金	△ 8,070
		繰延ヘッジ損益	240
		土地再評価差額金	2,262
		退職給付に係る調整累計額	1,154
		その他の包括利益累計額合計	△ 4,412
		純資産の部合計	167,348
資産の部合計	5,972,529	負債及び純資産の部合計	5,972,529

第2期 連結損益計算書 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)

		(単位：百万円)
科 目	金 額	
経常収益	76,847	
資金運用収益	41,399	
(うち貸出金利息)	(34,290)	
(うち有価証券利息配当金)	(6,092)	
役務取引等収益	13,338	
その他業務収益	1,877	
その他経常収益	20,230	
経常費用	72,753	
資金調達費用	448	
(うち預金利息)	(129)	
役務取引等費用	6,633	
その他業務費用	8,094	
営業経費	41,878	
その他経常費用	15,698	
経常利益	4,094	
特別利益	47	
特別損失	640	
税金等調整前当期純利益	3,501	
法人税、住民税及び事業税	1,231	
法人税等調整額	△ 547	
法人税等合計	683	
当期純利益	2,817	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,817	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結財務諸表の作成方針

子会社、子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいています。

1 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結される子会社及び子法人等 11社
- 株式会社青森銀行 ●株式会社みちのく銀行 ●あおり創生パートナーズ株式会社
 - 青銀甲田株式会社 ●あおぎんカードサービス株式会社 ●あおぎんリース株式会社
 - あおぎん信用保証株式会社 ●みちのくリース株式会社 ●みちのく信用保証株式会社
 - みちのくカード株式会社 ●みちのく債権回収株式会社
- (2) 非連結の子会社及び子法人等 2社
- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合 ●プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合

2 持分法の適用に関する事項

- 持分法非適用の非連結子会社 2社
- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合
 - プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合
- 持分法非適用の関連法人等 1社
- プロクレアまちづくりファンド有限責任事業組合

3 連結される子会社及び子法人等の決算日等に関する事項

連結される子会社及び子法人等の決算日は次のとおりです。
3月末日 11社

株式の情報 (2024年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数

- 普通株式 60,000 千株
- 第一種優先株式 13,800 千株

発行済株式の総数

- 普通株式 28,658 千株

株主数

- 普通株式 42,459 名

大株主

普通株式

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,713	9.48%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,446	5.05%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,399	4.89%
明治安田生命保険相互会社	523	1.83%
日本生命保険相互会社	478	1.67%
青森銀行職員持株会	387	1.35%
住友生命保険相互会社	338	1.18%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	334	1.17%
損害保険ジャパン株式会社	315	1.10%
田中建設株式会社	257	0.89%

※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
※持株比率は、自己株式を控除のうえ算出しています。

株主優待制度

■青森県を中心とした地元の特産品等を掲載したカタログより、毎年3月31日現在の保有株式数に応じて、年1回お好みの優待品をお選びいただけます。

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	1年以上継続保有 [※]	3,000円相当
1,000株以上	1年以上継続保有 [※]	6,000円相当

※1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年の3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

株式のご案内 (2024年3月31日現在)

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

単元株式数

当社の単元株式数は100株です。

公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当社ウェブサイト(<https://www.procrea-hd.co.jp/>)に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

●郵便物送付先および電話照会先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。



「燕島とウミネコ」

プロクレアホールディングス

発行/株式会社プロクレアホールディングス 経営企画部

〒030-0823 青森市橋本一丁目9番30号(本社) TEL 017-777-5111

URL <https://www.procrea-hd.co.jp> メールアドレス kouhou@procrea-hd.co.jp

(この小冊子は、商品勧誘を目的とするものではありません。)

表紙は、“地域の祭り”をテーマに
紹介しています。

※森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。

